

# BookMark 2012年9・10月合併号 (通巻第54号)

城西大学水田記念図書館報

図書館ホームページ <http://libopac.josai.ac.jp>

図書館メールアドレス [libraryl@josai.ac.jp](mailto:libraryl@josai.ac.jp)

TwitterID lib\_josai

図書館ツイッターのQRコードはこちら→



## 私と図書館

経営学部教授 張 紀滄

私は本が大好きである。出張するたびに必ずといっていいほど本屋をまわり、本を買い集めている。本を買う目的として、2つほどあげられる。一つは知識を吸収することである。もう一つは専門分野の本を買い集めることである。例えば、来日する前に中国の大学で日本語と日本語文法を教えていたので、日本語関係の本を見つければ、つい買ってしまい、日本語関連の書物を一番揃えていると思っている。

中国でもよく原稿を書いていた。原稿料のほとんどが本代に消えている。本を買う習慣が来日後も変わっていない。しかし、高価な本となれば、やはり図書館に頼らざるをえない。図書館に入れば、本のもつ独特のにおい、さそわれ、忘我の状態に入りやすい。城西大学の図書館もよく利用している。図書館で時々専門と異なる分野の本に出会うことがある。それを読めば新しいヒントを得て、論文を書くこともある。

本学のモットーは「学問による人間の形成」である。学問を得るには、図書館を利用しなければならない。しかし、近年図書館を利用し学問をする学生が少なくなってきた。本を読まないだけでなく、授業で使う教科書を買わない学生も急増している。「学生なのになぜ教科書を買わないのか」いつも不思議に思い、悩んでいる。私たちの学生時代では、教科書を買わない学生がいなかったからである。大学は知識を吸収し、学問をする場である。図書館は学問を支えるための知識の宝庫でもある。「授業で聞いたこと、まだ分からない所があれば、図書館に行き、本を読み、分からない所を分かるようにする」、これは知識を吸収し、学問をする唯一の道である。「授業 → 図書館 → 授業」という単純な循環を繰り返すことにより、学問を獲得することができる。私たちはこのように勉強してきた。図書館を回り、学問をする喜びを若い学生諸君にも覚えてほしい。

### 9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

### 10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 図書館開館時間

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

■=9:00~17:00

■=休館日です

## 今月の図書館展示コーナー「日中国交正常化40周年」

2012年9月は「日中共同声明」調印(日中国交正常化)から40周年という節目の年にあたります。

今回の図書館企画展示では、日中国交がどのようにしてなされたのか、またその後の日中関係はどのように発展してきたのかという点に焦点をあてて、関連資料を集めています。

歴史的にもつながりの深い両国の関係を知ること、これからどのようなビジョンを描いていくべきかが見えてくるのではないのでしょうか。



## Ask me! ~今月の調べもの~

**Q** 企業の財務諸表が掲載された資料はありますか。

**A** 財務諸表は企業の経営成績や財政状態を数字で表したものです。決算書ともいいます。

上場企業の財務諸表は東洋経済新報社が毎年発行している『会社財務カルテ』(週刊東洋経済・臨時増刊号)で調べられます。自社のHPで財務諸表を公開している企業もあります。

データベースでは<日経テレコン 21>の企業検索で財務諸表が見られます。調べたい企業が見つからないときや過去分を知りたいときは、有価証券報告書(財務諸表を含む)が閲覧できるデータベース<EDINET>も利用してみてください。

### POINT

東洋経済新報社は、雑誌『週刊東洋経済』の増刊号として企業情報に関わる資料を多く出版しています。出版社の特色として覚えておくと見当がつきやすくなります。

## ライブラリアン お勧め図書

### 「フロスト気質」

R・D・ウィングフィールド 著/芹澤恵 訳  
東京創元社  
開架図書(2階) / 933.7/W76/1・2

ハロウィンの夜、ゴミの山から少年の死体が発見されたのを皮切りに、幼児を狙った傷害事件や15歳少女の誘拐、母子四人殺人事件が相次いで発生する。事件を担当するのは、下品なジョークと勘に任せた迷推理がお得意のジャック・フロスト警部。勝手気ままな捜査を進めていくが、果たしてこれらの難事件を解決できるのか?

スピード感あふれる展開と複雑な人間模様、そしてミステリー史上最も頼りにならない主人公が織りなす、英国サスペンス・コメディの傑作。複数の事件が絡み合い、笑いと涙と共に予想できない結末へと収束していく様は圧巻の一言。爽快なスリルとドラマを求める方は必読です。

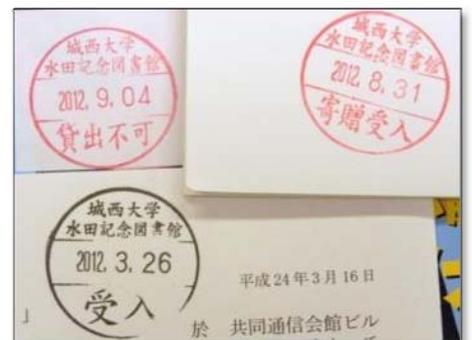
## としょかん ナニコレ?!

「よく雑誌や新聞を見てみると、押してある印は何種類かあるみたい。ナニコレ?」

実はこれを見ると色々なことが分かるようになっています。

図書館のものであることを示す「受入」、そのものズバリ『貸出ができません』を意味する「貸出不可」、『他大学や機関からもらって図書館資料になりました』という意味の「寄贈受入」とさまざまな種類があります。日付は受付が済んだ日を表しています。

大学の資料であることを表すと同時にどういう資料なのかも分かるようになっている、大切に優れモノの印なのです。



# 知的書評合戦

## ビブリオバトル

### 予選会開催

9月11日（火）図書館2階視聴覚室にて、「知的書評合戦・ビブリオバトル 首都決戦予選会 in 城西」を今年も開催しました。

ビブリオバトルは、バトラー（紹介者）が制限時間5分で自分のお気に入りの本を紹介し、会場の参加者が「どの本を一番読みたくなったか」を決めるという競技です。投票が最も多かった本がチャンプ本となり、バトラーは次の大会へと進みます。

### 今回は5名がエントリーしました



3年 石井さん

『スイートリトルライズ』

江國香織 著



3年 大野さん

『氷点』

三浦綾子 著



1年 成岡さん

『ホリエモンの宇宙論』

堀江貴文 著



3年 関谷さん

『"文学少女"と  
繋がれた<sup>フル</sup>患者』

野村 美月 著



2年 島田さん

『"心理戦"で絶対に負けない本』

伊東明 内藤諠人 著

当日は学生サポーター2名の司会のもと、学外の方も含む27名が観戦しました。予選会では皆さん個性豊かなスタイルでビブリオバトルを戦い、観客を大いに沸かせました。

投票の結果、見事チャンプ本となったのは石井さんの『スイートリトルライズ』です。

石井さんの書評は登場人物の心情を丹念に読み取り、落ち着いた論調で観客に伝えていくスタイル。その後のユーモラスな質疑応答との合わせ技で多くの票を勝ち取りました。

準チャンプ本は、年配の方の注目を集めた大野さんの『氷点』が選ばれました。



勝ち抜いた石井さんは10月7日（日）19時15分から紀伊國屋書店新宿南店7階サザンシアターのロビーで行われる地区決戦（関東Cブロック）に出場します。

さらに勝ち進むと10月21日（日）にベルサール秋葉原で行われる首都決戦に出場できます。皆さんぜひ応援に行きましょう。



戦い終わって和やかな一枚。  
バトラーの皆さん、お疲れ様でした。



## 図書館で使える 「情報センター認証無線LAN」 の場所が広がりました

本学学生、所属教職員の専用LANとして図書館棟1～6、9Fの各所で利用できます。

モバイル端末（スマートフォン《アンドロイドOS ver3.1以上》、iPhone、iPad など）で、学内利用専用の契約電子ジャーナル・ブック、データベースへアクセスできますが、電波の届きにくい箇所もありますので、ご了承ください。

認証の設定手順は「SCNL2009 情報科学研究センター利用の手引」に掲載されています。

設定に関する詳細は、情報センター（事務室：清光会館2F）または図書館へお問い合わせ下さい。

## 「セクシャルハラスメントについて」 の企画展示を行います

国立女性教育会館・女性教育情報センター所蔵図書のパッケージ貸出サービスにより、10月中旬からセクシャルハラスメントについての展示を図書館1階にて開催します。展示はICタグで管理された特設コーナーで行われ、貸出もできます。

セクシャルハラスメントは職場の人間関係のみならず、労働環境への悪影響やイメージダウンにつながるといったリスク要因となるため、多くの企業で防止策に取り組んでいる問題です。

今回の展示ではセクシャルハラスメントの定義や事例、防止策などの資料をそろえました。みなさんもこの問題について考えてみてください。

## 後期ガイダンスを受付中です

図書館では後期のガイダンス申し込みを受付けています。

基礎的な内容が中心だった前期ガイダンスをより発展させ、応用編としてレポート・論文作成に必要な文献検索の仕方、各種データベースの利用方法などを案内します。また、内容については、要望に合わせて変更できますのでお問い合わせください。

ゼミや授業のほか、研究室単位など少人数のグループでも受付しています。

**図書館1 階カウンター**に直接申し込んでいただくか、**内線1152**までご連絡ください。

## 図書館彙報

11月3日(土)坂戸市立中央図書館におきまして城西大学水田記念図書館副館長 従二和彦先生の公開講座「くすりにやさしくー知っておきたいくすりのかたちと正しい使い方」が開催されます。

■夏休み中に行っていた図書館西側壁面の工事は無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

■7月2～6日 新聞記事データベース講習会を行いました。

■7月5日 埼玉県大学・短期大学図書館協議会平成24年度第1回幹事会に出席しました。

■7月10日 日経テレコン21講習会を行いました。

■7月25日 坂戸市立図書館協議会に出席しました。

■7月27日 JST説明会に参加しました。

■8月2日 日本薬学図書館協議会機関紙編集委員会に出席しました。

■8月9日 教員免許更新講習の一講義が図書館で行われ、野沢孝之助文庫など経営数学分野の資料を紹介しました。

■8月25日 本学出身高校教員との懇談会が図書館9階で行われました。

■8月31日 私立大学図書館協会総会・研修会に参加しました。

■9月3日 JMLA/JPLAコンソーシアム説明会に参加しました。

■9月11日 ビブリオバトル首都決戦2012学内予選会を開催しました。

■9月12日 JUSTICE 版元説明会に参加しました。

■9月21日 図書館と県民のつどい2012大学図書館部会実行委員会に出席しました。

■9月26～30日 機関リポジトリ中堅担当者研修に参加します。

■9月29、30日 鶴ヶ島図書館祭りに参加します。

